

材料工学委員会・環境学委員会・総合工学委員会合同分科会の設置について

分科会等名：サーキュラーエコノミーのための資源・材料の循環利用検討分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○材料工学委員会 環境学委員会 総合工学委員会
2	委員の構成	25名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>人類の Well-being を達成し、快適な生活を享受しながらの経済活性化に対して、エネルギー・廃棄物・資源・環境負荷の各制約はますます相互解決が困難となる。これを解決する1つの方法として、モノや機能を循環使用することによって経済を活性化させるサーキュラーエコノミーが重要視されている。</p> <p>当分科会では、資源・材料循環、カーボンニュートラル、ライフサイクル思考、SDGs の目標「つくる責任つかう責任」について、学術的に議論することにより、サーキュラーエコノミー実現に資するエネルギー・廃棄物・資源・環境負荷の各制約の知見を提供するとともに、資源・材料工学分野として進むべき方向性を示す。</p>
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 製品の長寿命化のための設計とプロセス技術開発 (中長期的視点)</li> <li>2. 循環使用促進のための具体的な行動学による解析 (分野横断的検討)</li> <li>3. カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーの関係性 (俯瞰的視野)</li> <li>4. 既存学術体系の再構築、総合化による新学術分野の共創 (中長期的視点、分野横断的検討、俯瞰的視野)</li> </ol> <p>に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和5年12月22日～令和8年9月30日
6	備考	第25期では「SDGsのための資源・材料の循環使用検討分科会」として、公開シンポジウム3件を開催し、「報告」1件を提出したことが主な活動内容であり、その後継分科会となる。